

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	後期基本計画における、「ひとり親家庭福祉の充実」と合致しており、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請等で収入が減少しているひとり親家庭等の支援が急務と考える。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	ふたり親世帯と比べひとり親世帯は国の特別定額給付金（10万円）の恩恵も少ないため、市独自の給付が必要と考える。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	児童扶養手当対象児童に支給することにより、システム改修等は行わず、早期の給付が可能となる。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2～3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休業要請等で収入が減少しているひとり親家庭等の支援が急務と考える。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り（特定の地域や個人等）はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
A	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	他市でも同様の施策を講じており、市民からの問い合わせも多い。児童扶養手当対象世帯に3万円、第2子以降に1万円加算して給付することにより、受益者の公平性が図られる。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
<p>子育て世帯に対して独自の給付を行っている自治体は多く、今後は更に増加すると考えられる。 県内で独自給付を行っている自治体：野田市、市原市、成田市、松戸市、市川市、いすみ市、浦安市、印西市、流山市</p>			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない
	事業者の休業や学校の休校などにより、収入減少の影響を受けるひとり親家庭の家計支援に資する事業であると認められる。	
■政策調整会議による評価		
評価	◎評価理由	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
担当課の提案どおり実施するものとする。		